

《第5号議案》

経営安定化対策積立金規程の一部変更について

〔変更理由〕 今般の経済情勢等を鑑み、目的積立金への積立を柔軟に対応するため、所要の変更を行うもの。

〔変更内容〕 下記新旧対照表のとおり。

経営安定化対策積立金規程新旧対照表

(下線は変更部分を示す)

変 更 後	変 更 前
<p>(目的)</p> <p>第1条 組合経営に大きな影響を及ぼす臨時的な損失もしくは支出の発生時に対応するための財源を確保し、組合経営の安定化を図ることを目的として、任意積立金（目的積立金）を設置する。</p> <p>(運用)</p> <p>第2条 この積立金の積み立て、取り崩し等に関する事項は、定款の定めのあるもののほかは、この規程の定めによる。</p> <p>(名称)</p> <p>第3条 この積立金は、経営安定化対策積立金（以下、「積立金」という。）という。</p> <p>(積立目標額)</p> <p>第4条 積立金の積立目標額は、<u>30億円</u>とする。</p> <p>(積立基準)</p> <p>第5条 積立金は、剰余金（繰越損失金のある場合には、これを補填した後の残額）から<u>積み立てることができる</u>。</p> <p>(取崩)</p> <p>第6条 この積立金は、組合経営に大きな影響を及ぼす臨時的な損失もしくは支出の発生時に取り崩すことができるものとし、理事会の<u>決議</u>により行う。</p> <p>(改廃)</p> <p>第7条 この規程の改廃は、総代会の<u>決議</u>による。</p>	<p>(目的)</p> <p>第1条 組合経営に大きな影響を及ぼす臨時的な損失もしくは支出の発生時に対応するための財源を確保し、組合経営の安定化を図ることを目的として、任意積立金（目的積立金）を設置する。</p> <p>(運用)</p> <p>第2条 この積立金の積み立て、取り崩し等に関する事項は、定款の定めのあるもののほかは、この規程の定めによる。</p> <p>(名称)</p> <p>第3条 この積立金は、経営安定化対策積立金（以下、「積立金」という。）という。</p> <p>(積立目標額)</p> <p>第4条 積立金の積立目標額は、<u>15億円</u>とする。</p> <p>(積立基準)</p> <p>第5条 積立金は、<u>毎事業年度の剰余金</u>（繰越損失金のある場合には、これを補填した後の残額）から<u>積み立てる</u>。</p> <p>(取崩)</p> <p>第6条 この積立金は、組合経営に大きな影響を及ぼす臨時的な損失もしくは支出の発生時に取り崩すことができるものとし、理事会の<u>議決</u>により行う。</p> <p>(改廃)</p> <p>第7条 この規程の改廃は、総代会の<u>議決</u>による。</p>

附 則

この規程の変更は、令和8年6月25日から施行する。